

2025年度
R-GIRO公開シンポジウム

立命館大学 環太平洋文明研究センター

レジリエンスを語る —昔の知恵から未来 のヒントまで

会場：立命館大学 衣笠キャンパス 創思館カンファレンスルーム

形式：対面 + Zoom（ハイブリッド形式）



➡ 申込み

<https://x.gd/hQ3bv>

2025年

11月22日(土)

13:00～17:30
(開場 12:30)

table 1 歴史は困難に対処する知恵のアーカイブ

table 2 地域の歴史とレジリエンス—文化、制度の知恵を現代に活かす

table 3 現代を捉え未来を描くレジリエンス—人類史からのヒント

共催 立命館大学環太平洋文明研究センター
立命館グローバル・イノベーション研究機構



趣旨

立命館大学環太平洋文明研究センターでは、2022年よりR-GIRO第4期研究プログラム「人類史的にみた災害・食糧危機に対するレジリエンス強化のための学際的研究拠点」(2022～2026年度)を推進しています。本プログラムでは、古気候学・考古学・地理学・歴史学・人類学・経営学・デザイン学など多様な分野が協働し、自然災害や食糧危機など暮らしに関わるさまざまな課題に強い社会のあり方を探求しています。

このプログラムでは、日本を含む環太平洋地域を対象に、過去の気候変動や災害・食糧危機のメカニズムと、それに対する人類の対応を実証的に解明してきました。その成果から見出された人類の知恵や営みを、デザインやゲーム研究の知見を活用して構造化・可視化し、現代および未来社会のレジリエンス強化に資する提言を目指しています。

研究成果は、一般読者向けにまとめた書籍として2027年3月に刊行予定です。今回のラウンドテーブルは、その出版に先立ち、書籍の狙いを広く紹介するとともに、参加者との対話を通じて原稿の充実につなげる場とします。

13:00～13:10

開会挨拶・趣旨説明

小川 さやか (先端総合学術研究科・教授)

13:15～14:15

テーブル1

歴史は困難に対処する知恵のアーカイブ

ファシリテータ：村尾 るみこ (R-GIRO・助教)

パネリスト：長友 朋子 (文学部・教授)

NOXON Corey Tyler (R-GIRO・助教)

小澤 麻帆 (R-GIRO・研究員)

郡山 志保 (R-GIRO・研究員)

玉井 良尚 (R-GIRO・助教)

14:20～15:20

テーブル2

地域の歴史とレジリエンス

—文化、制度の知恵を現代に活かす

ファシリテータ：中村 大 (共通教育推進機構・教授)

パネリスト：矢野 健一 (立命館大学名誉教授)

宮脇 昇 (政策科学部・教授)

SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante (政策科学部・教授)

15:20～15:40

休憩

15:40～16:40

テーブル3

現代を捉え未来を描くレジリエンス

—人類史からのヒント

ファシリテータ：小川 さやか (先端総合学術研究科・教授)

パネリスト：井登 友一 (経営学部・教授)

鎌谷 かおる (食マネジメント学部・教授)

後藤 智 (経営学部・教授)

SHIN Juhung (衣笠総合研究機構・助教)

16:45～17:20

意見交換

17:20～17:30

閉会挨拶

小川 さやか (先端総合学術研究科・教授)